

# 週間漁海況情報—第5号

平成27年2月2日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

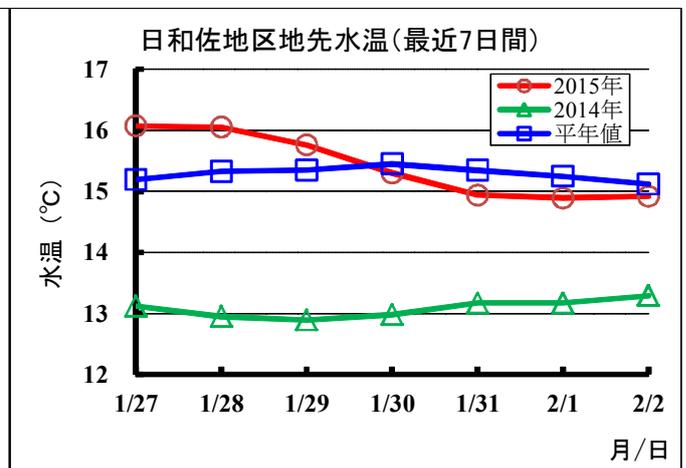
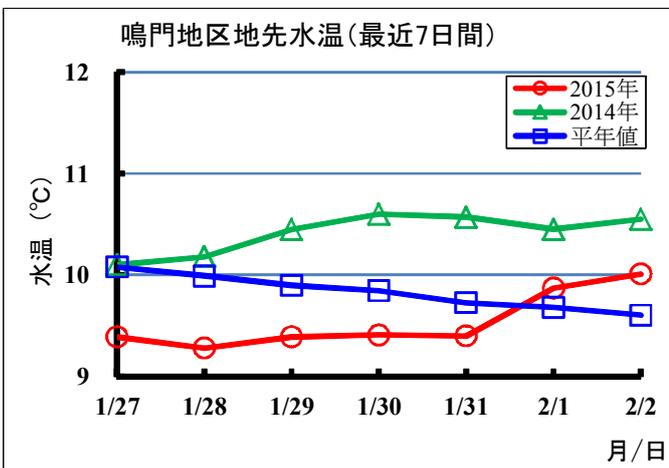
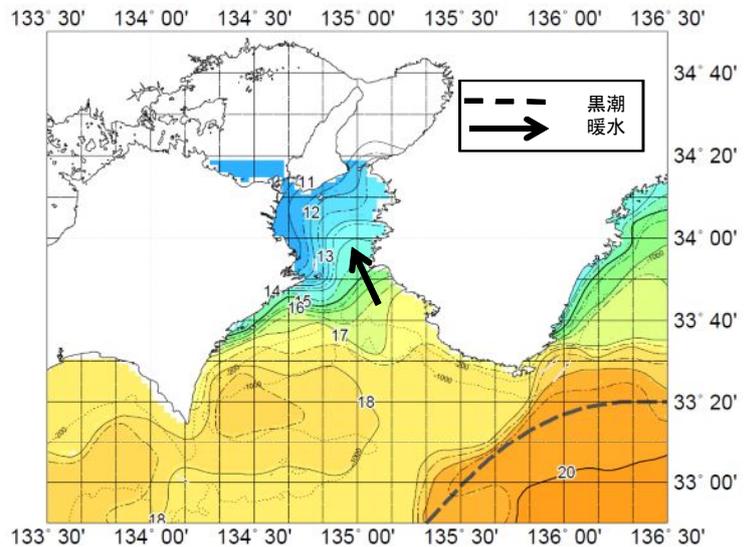
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H27.2.2）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で、かなり離岸、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で10℃台、紀伊水道では10～14℃台、海部沿岸は12～16℃台である。紀伊水道外域では土佐湾沖から暖水流入がある。紀伊水道では和歌山県側から弱い暖水流入がある。



**地先水温:** 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の9.3～10.0℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の14.9～16.1℃、牟岐地区は「やや低め」～「高め」の14.0～17.3℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並: ±0.49以下, やや高め(やや低め): ±0.50～1.49, 高め(低め): ±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め): ±2.50以上

\* 平年値 鳴門地区: 1981～2010年の平均値、日和佐地区: 1982～2010年の平均値

## 2. 漁況の経過

**延縄**：海部沿岸で大主体にサバフグが0.5トン（1日1隻あたり43kg）水揚げされた。

**小型定置網**：海部沿岸で小主体にマアジが0.2トン（同13kg）、カタクチイワシが0.3トン（同12kg）、アオリイカが0.3トン（同6kg）、メジナが0.4トン（同21kg）水揚げされた。

**大型定置網**：海部沿岸でマメ主体にマアジが0.5トン（同60kg）、中主体にスルメイカが0.4トン（同45kg）、小主体にケンサキイカが0.2トン（同20kg）水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸で大主体にアオリイカが0.2トン（同6kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2015年1月26日～2015年2月1日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
延縄	海部沿岸	サバフグ	12	514	43	大主体	
小型定置網		マアジ	18	237	13	小主体	
		カタクチイワシ	30	349	12		
		アオリイカ	57	314	6		
		メジナ	18	374	21		
大型定置網		マアジ	9	536	60	マメ主体	
		スルメイカ	9	401	45	中主体	
		ケンサキイカ	9	181	20	小主体	
釣り			アオリイカ	31	188	6	大主体

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年1月27日～2月2日には、海部沿岸で、延縄で大主体にキダイが0.4トン、カワハギが0.3トン、建網で中主体にヒラメが0.6トン、小型定置網でカタクチイワシが1.0トン、キビナゴが0.3トン、中主体にメジナが0.2トン、小主体にイカ類が0.3トン、大型定置網で、小主体にマアジが0.3トン、小主体にマルアジが0.4トン、中主体にスルメイカが0.6トン、釣りで、大主体にタチウオが0.3トン水揚げされた。

**週間予報**：黒潮は、室戸岬沖において「かなり離岸」、潮岬沖において「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の9℃台、日和佐地先で「平年並み」の14～15℃台で推移する見込み。